

大館の歴史散歩

峠・坂
里の道

⑥

山田越え

この道は、今の松峰から大山の松峰神社参道を途中から左に折れ、大山貯水池の土手を通り、山田越えを経て田代町保滝沢へ連絡する峠道である。

戦国時代には重要な公道であり、近郷近在の民人や旅人が往来する



草木が繁茂している「山田越え」

ことから、これらを監視する好適地として花岡城（浅石城）が築城された。この城の北部及び北西には奥深い山々が広がり、東側に大森川、西側に花岡川が流れ、南には「山田越え」を見張るのに最適の大森山がある。

花岡城主浅利定頼が天正二年（一五七四）十二月に、この峠を越えて山田へ出陣して秋田実季と戦い討死にしたと伝えられる。

また、江戸時代の紀行家菅江真澄翁が、享和三年（一八〇三）五月に扇田、二井田の古跡を訪ねながらこの地に来ており、その時の紀行文「管能辞賀楽美」によると、この道を通って大山にある松峰神社や古跡を巡りながら、田代町保滝沢や田代岳、十の瀬などを見渡したといわれている。

かつて、最盛時の花岡鉦山の市



目には、保滝沢や柏木の農家の人たちが農作物の行商に利用したこの峠道も、今は草木が繁茂し、その存在を確認することも難しくなっている。峠の小道をかき分け、うっそうとした木立の中を歩きながら、過去の旅人の心境に浸ることも、また、心安まると思う。

市役所史跡探訪会

私の本棚

中央図書館新着図書

「土壇場でハリー・ライム」

典廐五郎著
(文芸春秋)

新聞社を舞台にゾルゲ事件をからめたミステリー。被害者は、靴を左右逆にはいたうえ、派手なパラソルをさしたまま、夜霧のビルの屋上から飛び降りる。警察は自殺と断定したが……。

一般書

◇ショージ君の「ナンデカ？」の発想（東海林さだお）◇霧の会議（松本清張）◇さすらいの「未復員」（古永春子）◇おやじの値段（日本エッセイストクラブ）◇姑はつらいよ（西川勢津子）◇目玉と脳の大冒険（荒俣宏）◇こんな暮らし方もある（佐藤愛子）◇黒部渓谷（岩橋崇至）◇帝銀事件と平沢貞通氏（遠藤誠）ほか

児童書

◇おにまるともこうみへ（岸田衿子）◇ながいながいすべりだい（長新太）◇火の島に生きる（三田村信行）◇若草物語（オルコット）ほか

●9月のテーマ関連図書コーナーは「愛」です。
●親子読み聞かせ会は
毎週金曜日 午後2時30分
●中央図書館の休館日は
9月20、23、24日、10月10、18日

消費者の窓

悪質な催眠商法

にご注意を！

最近、市内で悪質な「催眠商法」が横行し、被害が急増しています。

▽この悪質商法の手口は

・個人の車庫や町内の集会所などを、新商品の紹介だと言って借りる。
・近所の人を集め、日用品を無料で配り、手を上げさせたりしているうちに、いつの間にか高額な寝具などを買わせてしまう。

・頭金と称して、その場で配付した日用品相当額を現金で徴収し、残金は後日一括払いすることを約束させられる。

・クーリングオフ（無条件解約）手続きをしても、配付した日用品代相当額だと言って頭金の返金には



応じない。

この催眠商法では、お年寄りの被害が特に目立っています。家族や近所の方たちと注意し合って、会場となるような場所は絶対に提供しないようにしましょう。また、会場に来るようにしつこく誘われても、きっぱりと断わりましょう。

悪徳業者は、だましのテクニックを駆使して私たちの心のスキを狙っています。迷ったり、優柔不断な態度は禁物です。賢い消費者としての知識を身につけ、大切な財産を自分自身で守りましょう。

▽消費生活問題についての相談は
市民生活課（内線214）へ

ふれ愛

「小さな親切」の街



能 呂 喜代治さん (83歳)

桂城公園を
清掃奉仕

桂城公園の近く古川町に住む能呂さんは、昭和三十四年から桂城公園の清掃活動を始めました。
「市民の憩いの場であるこの公園がゴミで汚れているのを見て、『これではいけない』と思い、清掃を始めました。花見などの行事が公園であるときは、特に汚れがひどいので一日に三回も清掃したこともあります。」と能呂さんは話します。
去る八月二十九日に行われた「県の記念日」で、能呂さんは「善行者」として秋田県知事から表彰されました。

▶ 9月は国民健康保険税第2期の納期です。

——この社会あなたの税がいきている——